

お得意様各位

令和8年9月25日

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V 【財務】インボイス制度「7・5・3割控除」対応版

【税務】相続税申告書・財産評価・届出書・電子申告等 送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

財務プログラムにおきましてインボイス制度「7・5・3割控除」対応版プログラムが、また、税務プログラムにおきましては、令和8年度相続税申告書・財産評価・届出書・電子申告プログラムが完成しましたのでお届けします。

電子申告システムをお持ちのお客様は、電子申告環境設定の更新作業も行ってください。令和8年9月24日にe-Taxソフトが更新となりましたので、9月24日以降にe-Taxソフトも更新作業を行っていただきますようお願いいたします。(e-Tax更新を行わないとデータ変換が正しくできませんので必ず行ってください。)

※今回、通常よりも多くの更新作業がございます※

国税情報システムの更改に伴い、申告書様式が従来の紙ベースの処理を前提としたものから『AI-OCR (AIがより正確に読み取れるレイアウト)』に変更となります。

弊社システムも順次対応を行うことから、今回はマルチウィンドウ端末、AI-OCR環境設定等通常よりも多くの更新作業がございます。お客様にはお手数をおかけしますが、案内文をお読みいただき、更新抜けがないようご注意くださいようお願いいたします。

(更新確認用チェックシートを同封していますので、ご活用ください。)

詳しくは、同封の資料を参照の上、更新作業を行っていただきますようお願い申し上げます。今後とも倍旧のお引き立てのほど、宜しくようお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)及びご注文にもとづき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

- ・ System-V 税務「7・5・3割控除」・個別税効果会計 CD-R 1枚
相続税申告書・財産評価・届出書・電子申告システム等更新
電子申告環境設定・マルチウィンドウ端末V-5.19
AI-OCR環境設定

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

取扱説明書

- ・ <https://www.ss.tatemura.com/> より確認できます。

案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 1～2
 - ・ [1000]プログラムの更新作業 3～4
 - マルチウィンドウ端末 V-5.19 更新方法 5～7
 - AI-OCR 環境設定インストール方法 8～12
 - ・ 電子申告 環境設定インストール方法 13～15
 - ・ 財務プログラム インボイス制度《7・5・3割控除》更新内容 16
 - ・ 個別税効果会計計算システム 更新内容 17
 - ・ 相続税申告書プログラム内容 18～20
 - ・ 財産評価 更新内容 21～25
 - ・ 届出書セット 更新内容 26
 - ・ 電子申告システム 更新内容 27～28
- (別紙) 更新確認用チェックシート

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡くださいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用ください。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)
FAX 042-553-9901

以上

ご注文および保守契約に合わせて、以下のCD-Rを同封しております。



No	ラベル名	枚数	備 考
1	財務(7・5・3割控除)対応・個別税効果会計 相続税申告書・財産評価・届出書 電子申告システム等更新・電子申告環境設定 マルチウィンドウ端末V-5.19 AI-OCR環境設定	1	プログラムインストールCD-Rです。 契約プログラムのみインストールしま す。

●バージョンNo.一覧 【財務プログラム】

転送後のバージョン確認

下記のプログラムは **F 6** (登録&入力)・**F 7** (帳表出力)
・**F 9** (申告・個人・分析) 2 頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	VER	備 考
1 1	仕訳入力	V-9.00	仕入免マーク区分「i・e・f・z」に「s・t」を追加しました。
1 2	仕訳日記帳	V-9.00	仕入免マーク区分「s・t」印刷を追加しました。
3 0	合計残高試算表	V-9.00	「税抜処理：する」を選択した場合の仕入税抜処理 適格請求書発行事業者以外からの消費税とみなされる 額の算出計算に、[免]s=70%控除・[免]t=30%控除を 追加しました。 ※仕訳入力[F16]表示選択”免・控除自動計算する”の 場合に[免]e=80%控除・[免]s=70%控除・[免]f=50% 控除・[免]t=30%控除・[免]z=0%控除 で計算します。
3 1	営業成績報告書		
3 2	青色営業成績報告書		
3 3	当期原価報告書		
3 7	消費税精算表	V-9.00	適格請求書発行事業者以外からの仕入の表で、控除率 ごとの集計、印刷に [免]s=70%控除・[免]t=30%控除を 追加しました。
4 0	課税区分集計表		
4 1	仕入控除額計算書		
3 8	消費税自動精算	V-9.00	税抜処理において[免]s・tの集計を追加しました。 ※仕訳入力[F16]表示選択”免・控除自動計算する”の 場合に[免]e=80%控除・[免]s=70%控除・[免]f=50% 控除・[免]t=30%控除・[免]z=0%控除で計算します。
3 9	消費税一括自動分離		

PG番号	プログラム名	VER	備 考
5 0	総勘定元帳	V-9.00	仕入免マーク区分「s・t」印刷を追加しました。
1 2 3 0	分析試算表	V-9.00	「税抜処理：する」を選択した場合の仕入税抜処理 適格請求書発行事業者以外からの消費税とみなされる 額の算出計算に [免]s=70%控除・[免]t=30%控除を 追加しました。 ※仕訳入力[F16]表示選択” 免・控除自動計算する” の 場合に[免]e=80%控除・[免]s=70%控除・[免]f=50% 控除・[免]t=30%控除・[免]z=0%控除で計算します。
2 3 0	(オプション) 個別税効果会計計算 システム(R8.4.1以降)	V-7.00	法定実効税率の計算欄に「防衛特別法人税率」欄を 追加し、計算も対応しました。

下記のプログラムは補助オプションです。ご購入の場合、**[F 8]**（補助&比較等出力）に表示します。

5 8	部門別営業成績推移表	V-9.00	「税抜処理：する」を選択した場合の仕入税抜処理 適格請求書発行事業者以外からの消費税とみなされる 額の算出計算に [免]s=70%控除・[免]t=30%控除を 追加しました。 ※仕訳入力[F16]表示選択” 免・控除自動計算する” の 場合に[免]e=80%控除・[免]s=70%控除・[免]f=50% 控除・[免]t=30%控除・[免]z=0%で計算します。
5 9	部門別当期原価推移表		
6 0	部門別営業成績報告書		
6 1	部門別当期原価報告書		
6 3	科目別補助簿	V-9.00	仕入免マーク区分「s・t」印刷を追加しました。
6 7	工事別元帳		
5 7	(オプション) 帳簿履歴	V-9.00	仕入免マーク区分「s・t」印刷を追加しました。 ※仕訳の入力・訂正・削除履歴(日時、オペレータ名)が 元帳形式で確認できるプログラムです。

●バージョンNo.一覧【税務プログラム】

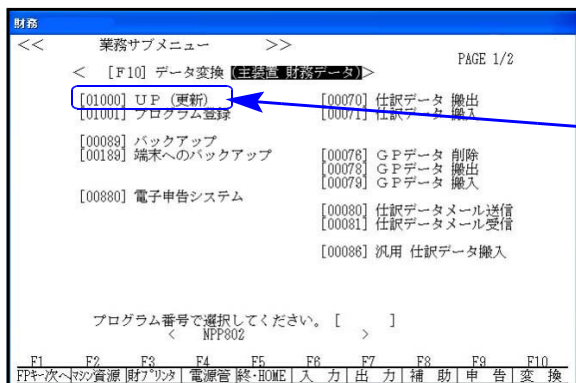
転送後のバージョン確認 下記のプログラムは **[F 9]**（申告・個人・分析）の1、2頁目・**[F 10]**（データ変換）の1頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備 考
9 7	G P年度更新	V-6.28	今回変更の各プログラムに対応しました。
5 0 0	相続税申告書 令和8年版	V-1.20	AI-OCR様式に対応しました。
5 5 0	財産評価 令和8年4月1日以降版	V-6.70	AI-OCR様式に対応しました。 (取引相場のない株式：表番号の変更あり)
1 1 1 0	届出書セット 令和8年分	V-6.80	税理士添付書類のみ、AI-OCRに対応しました。
8 8 0	電子申告 令和8年度	V-6.39	・令和8年9月24日のe-Taxの更新に対応しました。 ・最新の税理士添付書類データで変換するように 対応しました。 ・オプション[890]相続税電子変換も更新しました。

※今回は、**各端末**において「マルチウィンドウ端末V-5.19(P.5~7)」「AI-OCR環境設定(P.8~12)」
の更新も続けて行ってください。電子申告ご利用の場合は「電子申告環境設定(P.13~15)」の
更新作業もお願いします。

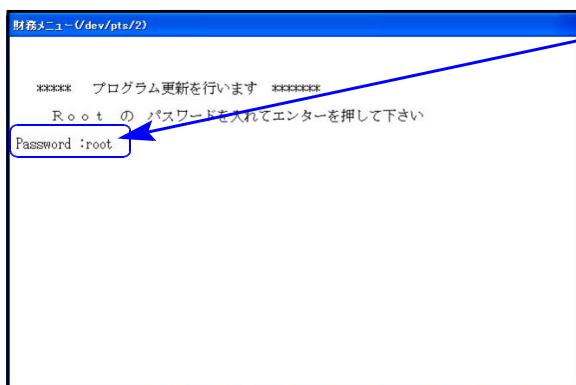
● 操作方法

- ① 「財務「7・5・3割控除」・個別税効果会計・相続税申告書・財産評価 更新～ 26.09」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)** を呼び出します。

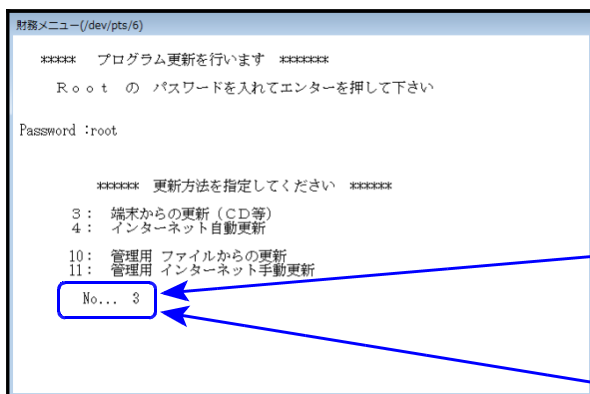
1000 **Enter** を押します。



Enter を押します。
(rootは入力しません)

r o o t は消さないようにしてください。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。

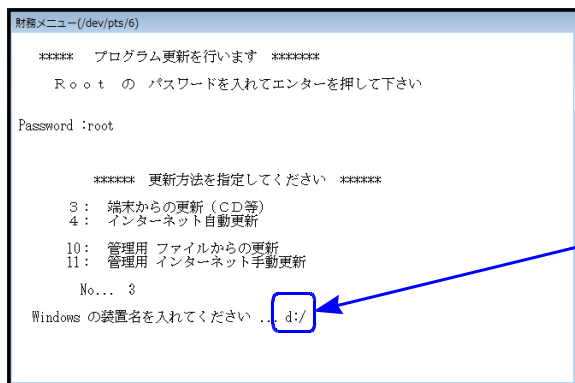


- ③ 左図の画面を表示します。

CD-Rがセットされていることを確認後、『3』端末からの更新(CD等)を選択します。

3 **Enter** と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は
2 **Enter** を押します。
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末からの更新(CD等)を選択すると『Windowsの装置名を入れてください..d:/』等、前回指定したドライブ名を表示しますのでCD-ROMのドライブ名を確認します。

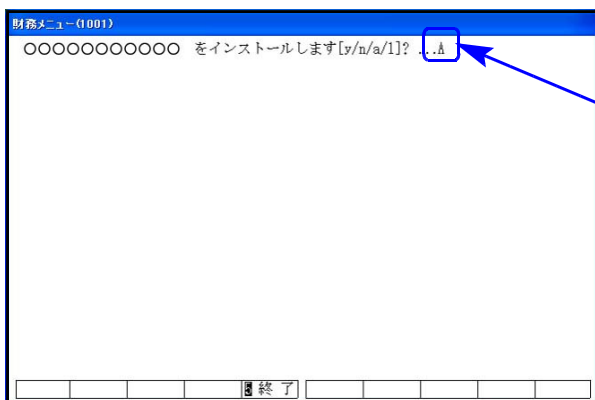
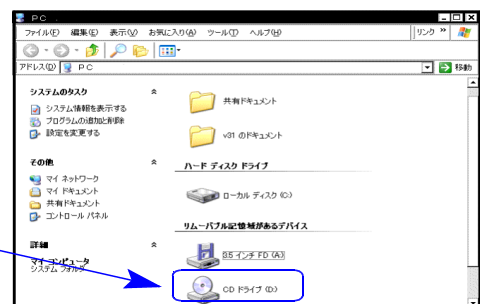
表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認してください。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

PCを開きます。
CD-ROMのドライブを確認してください。

右図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



- ⑤ インストールを実行します。

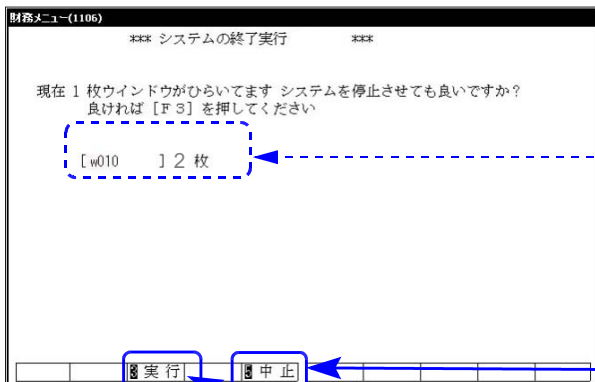
左図の1行目の画面を表示します。
『〇〇〇をインストールします[y/n/a/1?...]』
a 又は **1** を選択します。

※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択してください。

- ⑥ 2行目以降を表示します。
終了が出た後しばらくお待ちください。

- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。
CD-Rを本体から取り出してください。
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに転送作業中の端末名のみ表示していることを確認します。他の端末名を表示している場合はその端末を終了してください。

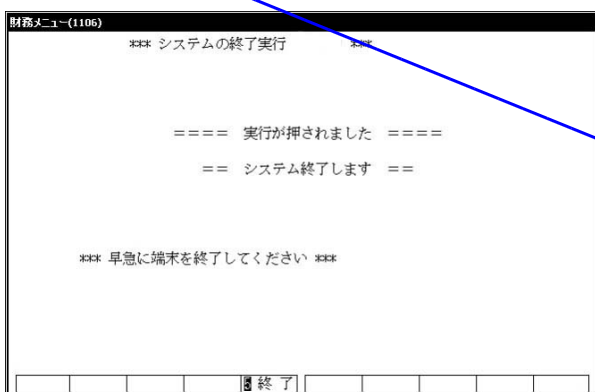


単体の場合

中止 (F5) を何回か押してシステムを終了しWindows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動してください。

ネットワークの場合

実行 (F3) を押し、しばらくお待ちください。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチタスク端末が終了、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。
(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合、電源ボタンを押して起動させてください。)

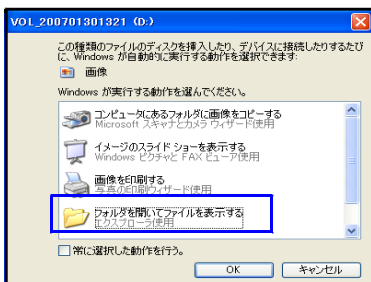
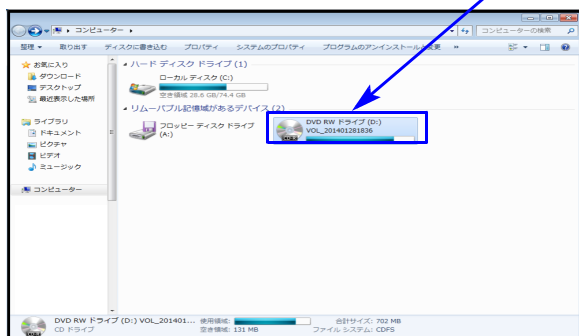


※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

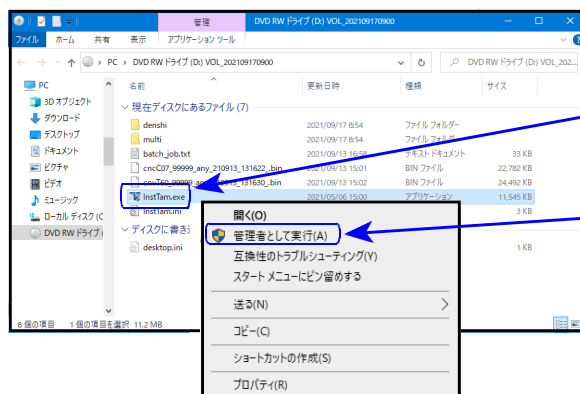
V-5.16→ V-5.19への更新を行います。

- ・インストールを行う際は、全てのプログラムを終了してください。（マルチウィンドウ端末も閉じます。）
- ・下記に沿って各端末機でインストール作業を行ってください。

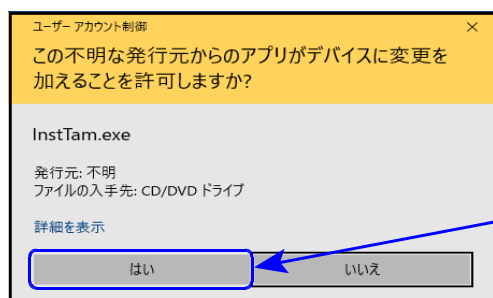
1. 今回送付した「相続税申告書・財産評価・届出書 ～ 更新 26.09」と書いてあるCD-Rを用意して端末機にセットします。
2. PCをダブルクリック→DVD-RWドライブをダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。
OK をクリックするとCD-Rの内容を表示します。



3. CD-Rの内容を表示しますので『InstTam.exe』を右クリックし、『管理者として実行』をクリックします。



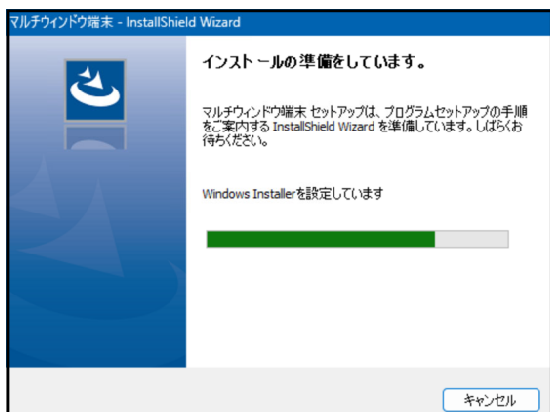
4. 「許可しますか？」と表示します。
「はい(Y)」をクリックします。



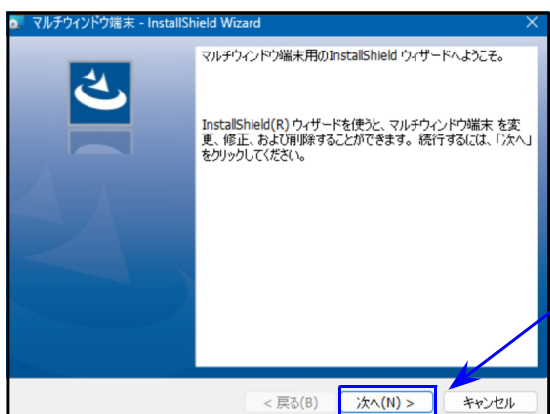
5. 左図の画面を表示します。

マルチウィンドウ端末V-5.19を更新します。
「実行」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、
「実行」クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えますが、再クリックはせずに、そのままお待ちください。

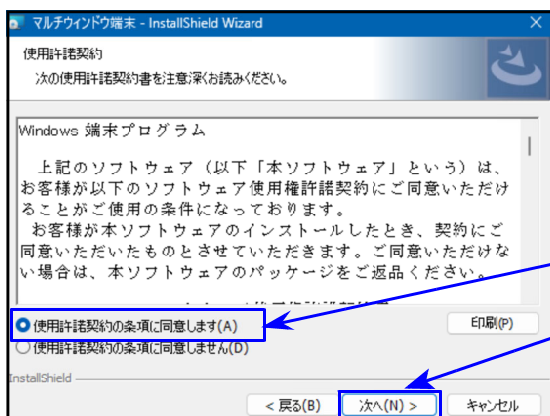


6. 左図の画面を表示します。
7. の画面を表示するまでお待ちください。



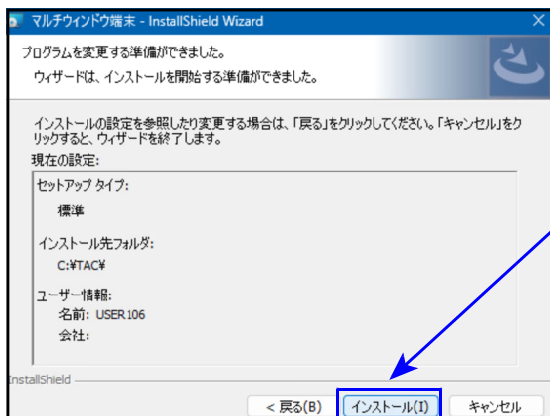
7. 左図の画面を表示します。

「次へ」をクリックします。



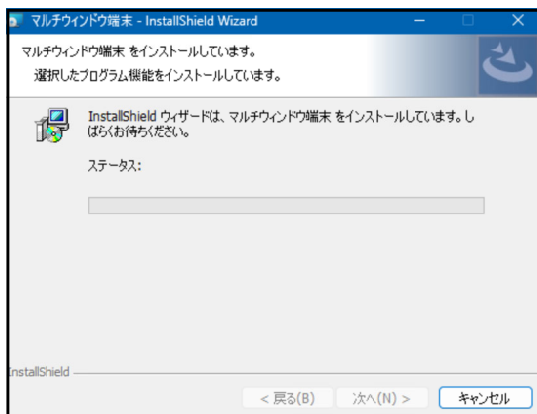
8. 左図の画面を表示します。

使用許諾契約書をお読みいただき、
「同意します」に●を付け替えた後、
「次へ」をクリックします。



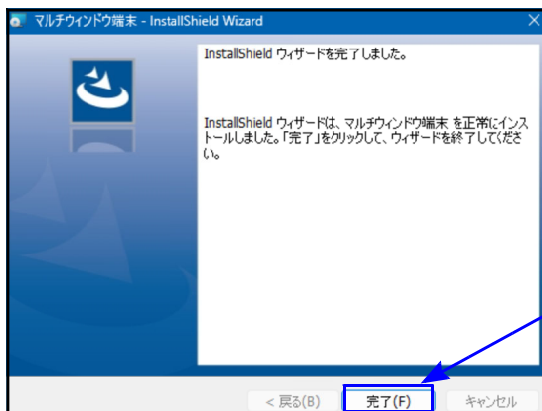
9. 左図の画面を表示します。
「インストール」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、
「インストール」クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えますが、再クリックはせずに、そのままお待ちください。



10. 左図の画面を表示します。

更新作業が始まります。
11. の画面になるまで、そのまましばらくお待ちください。



11. 更新作業が完了すると左図の画面を表示します。

「完了」をクリックします。

12. 左下図の画面に戻ります。
閉じる をクリックします。

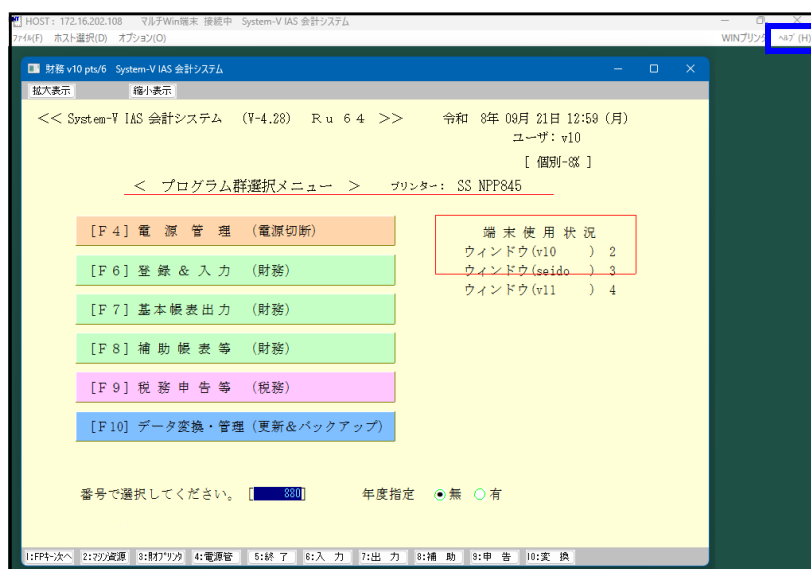


以上でマルチウィンドウ端末更新作業は終了です。

↓
パソコンを再起動してください。

再起動後、バージョンの確認を行います

パソコンを再起動後、マルチウィンドウ端末のバージョンを確認します。



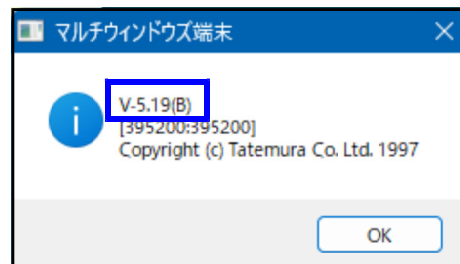
画面右上の「ヘルプ」をクリック。

バージョン情報(A)

暗号チェック(a)

↓
バージョン情報をクリック。

↓
「V-5.19」になったことを確認します。

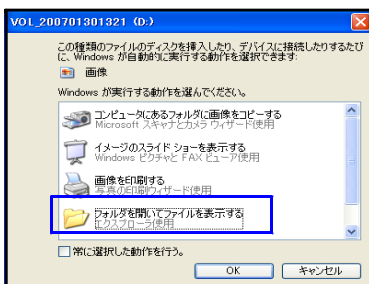
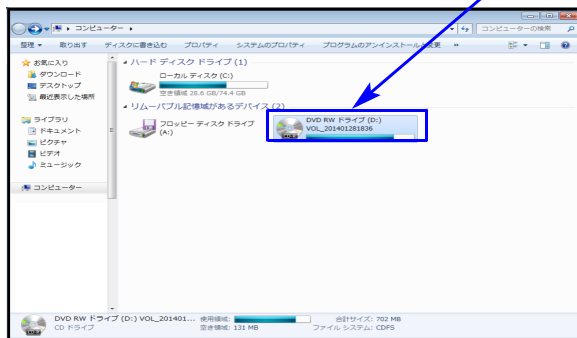


⇒ 「AI-OCR環境設定」インストールも引き続き行ってください。

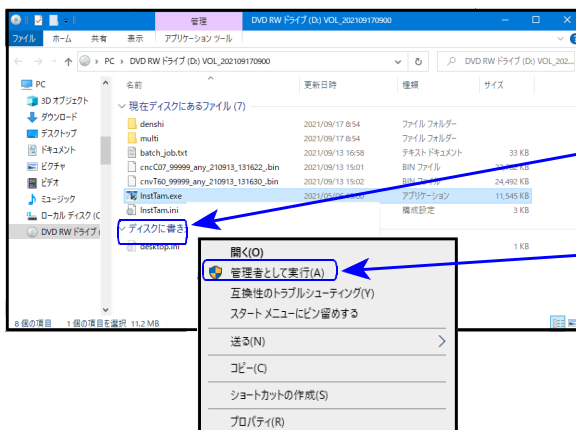
AI-OCRの環境設定をインストールします。

- ・インストールを行う際は、全てのプログラムを終了してください。（マルチウィンドウ端末も閉じます。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。
- ・下記に沿って各端末機でインストール作業を行ってください。

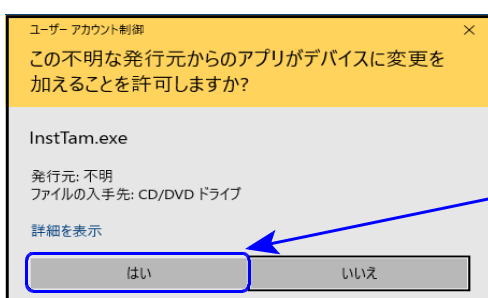
1. 今回送付した「相続税申告書・財産評価・届出書 ～ 更新 26.09」と書いてあるCD-Rを用意して端末機にセットします。
2. PCをダブルクリック→DVD-RWドライブをダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。
OK をクリックするとCD-Rの内容を表示します。



3. CD-Rの内容を表示しますので『InstTam.exe』を右クリックし、『管理者として実行』をクリックします。



4. 「許可しますか？」と表示します。「はい(Y)」をクリックします。

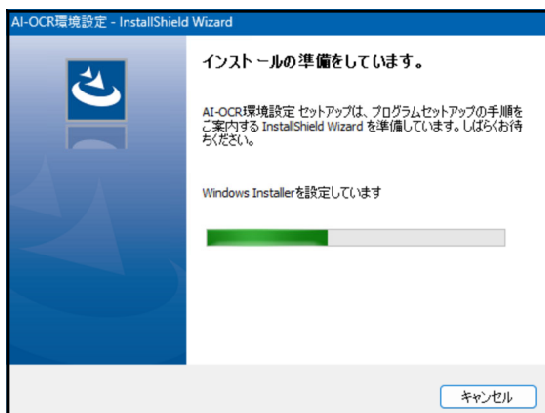


5. 左図の画面を表示します。

AI-OCR環境設定をインストールします。

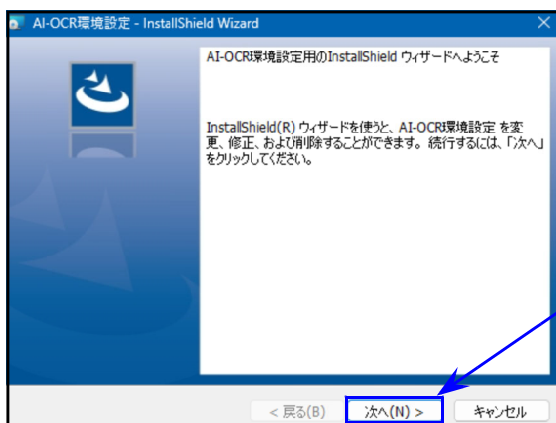
「インストール」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、
インストール クリック後、次の画面に
変わるまで数分間無反応状態に見える
ことがあります。再クリックはせずに
そのままお待ちください。



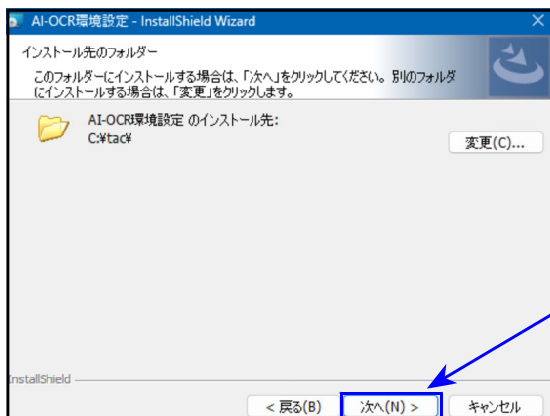
6. 左図の画面を表示します。

7. の画面を表示するまでお待ちください。



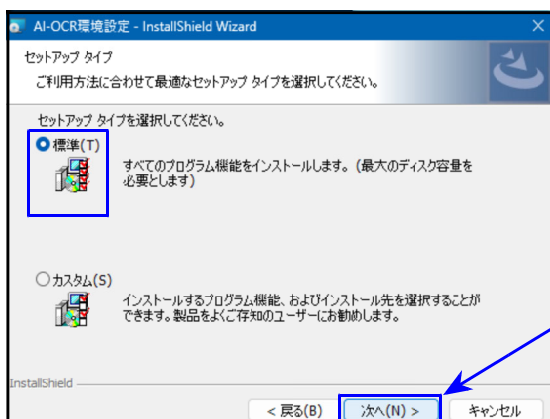
7. 左図の画面を表示します。

「次へ」をクリックします。



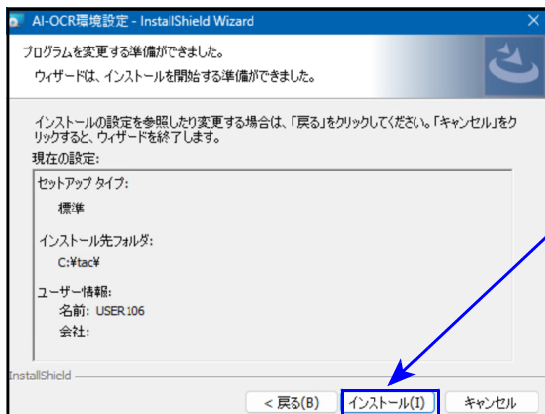
8. 左図の画面を表示します。

「次へ」をクリックします。



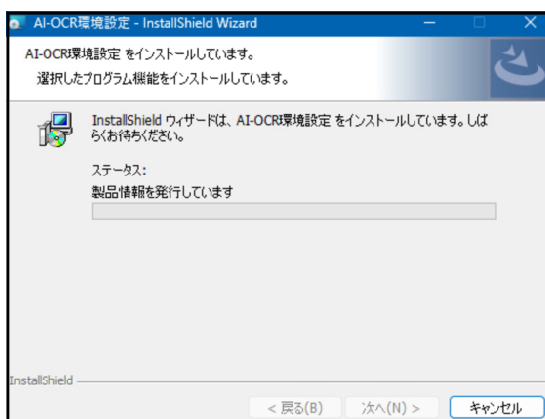
9. 左図の画面を表示します。

「標準」が選択されていることを確認し、
「次へ」をクリックします。



10. 左図の画面を表示します。
「インストール」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、
インストール クリック後、次の画面に
変わるまで数分間無反応状態に見えるこ
とがありますが、再クリックはせずに
そのままお待ちください。



11. 左図の画面を表示します。

更新作業が始まります。
11. の画面になるまで、そのまま
しばらくお待ちください。



12. 更新作業が完了すると左図の画面
を表示します。

「完了」をクリックします。

13. 左下図の画面に戻ります。
閉じる をクリックします。



以上でAI-OCR環境設定
インストール作業は終了です。

↓
OCR様式印刷をするうえで必要な設定を行います。
マルチウィンドウ端末を起動します。



次頁からの作業を各端末で行ってください。

【AI-OCR様式印刷対応の設定】 各端末で設定を行ってください。

AI-OCR様式印刷をおこなうためには、以下の条件があります。

- ・印刷プリンタ指定：Win直プリンタ
- ・プレビュー：『pdfFactory』

※プレビューを表示するためには『pdfFactory』が必要です。（Adobe等でのソフトでは表示できません。） ご不明な場合はサービス課までお問い合わせください。

1. AI-OCR対応プログラム使用時の設定を行います。

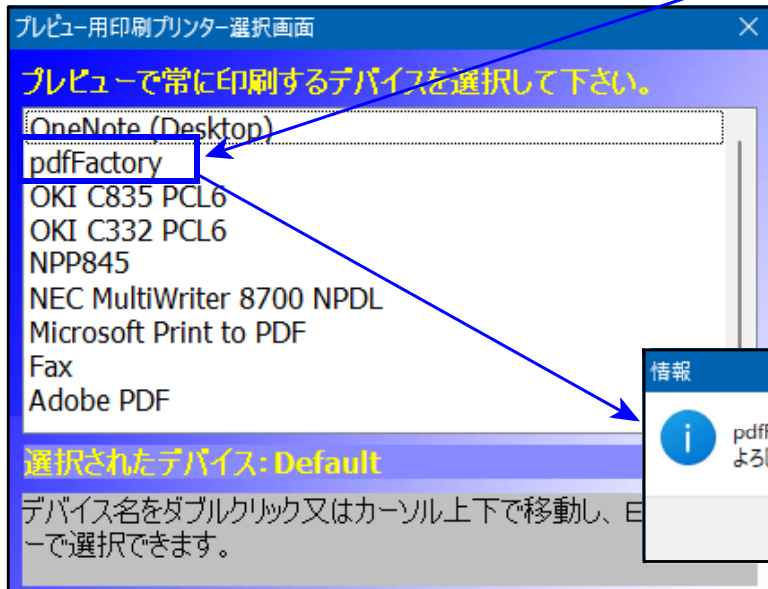
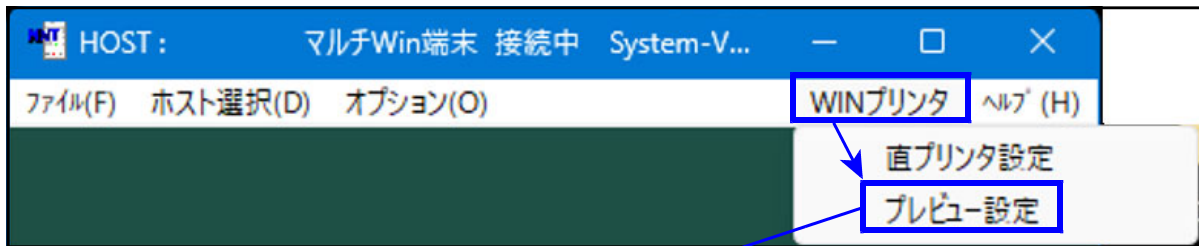
マルチウィンドウ端末を起動→[F16：マスタ登録]の[920]財務オプション設定を起動します。

The top screenshot shows the main menu of the System-V IAS accounting system. The menu items are listed in a grid. The item '[00920] 財務オプション設定' is highlighted with a blue box. A blue arrow points from this item to the bottom screenshot.

The bottom screenshot shows the '財務オプション設定' (Financial Option Settings) screen. The screen is divided into two main sections. The left section contains various settings for the terminal, such as '端末の装置名', '財務データの場合', 'G Pデータの場合', 'UNIX辞書使う', '元帳両面の余りページ', 'ファイル転送', '更新のお知らせ', '端末バックアップ警告', '端末ワイド画面', and '最初のメニュー位置'. The right section contains settings for the AI-OCR program, including 'バージョン確認', 'プログラム', '設定ファイル', 'メニュー更新', 'チェック', 'テスト', 'チェック', '標準値', '縦', '横', '標準値', 'AI OCR時利用プリンタ', and 'プレビュー'. The 'AI OCR時利用プリンタ' setting is highlighted with a blue box, and its value is 'Win直プリンタ(A4用)'. The 'プレビュー' setting is also highlighted with a blue box, and its value is '2: PDF'.

AI-OCR時利用プリンタ・・・Win直プリンタ (A4)
プレビュー・・・2: PDF } と設定して、終了します。

2. AI-OCR対応プログラムでの入力画面のプレビューを『pdfFactory』で表示させる設定を行います。
マルチウィンドウ端末の右上「WINプリンタ」をクリック→「プレビュー設定」をクリックします。

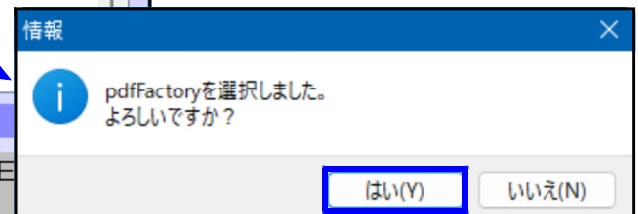


左図の画面を表示します。

『pdfFactory』をダブルクリックします。

※pdfFactory以外のソフトは選択しないでください。

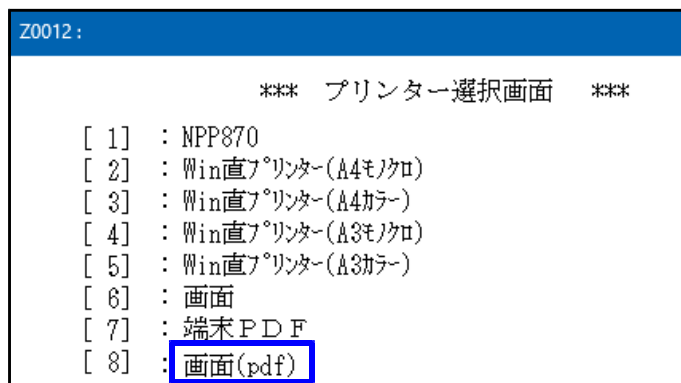
↓
下図の画面を表示します。



「はい」をクリックすると設定が完了し、画面が閉じます。

【AI-OCR様式対応プログラムでの画面印刷について】

- 2：プリントでプリンタに印刷せず画面で見られるようにするための「画面(pdf)」を用意しました。



・AI-OCR対応プログラム
「画面(pdf)」を指定してください。

・AI-OCR対応になっていない
従来プログラム
「画面」を指定してください。

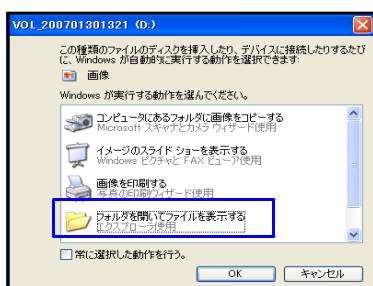
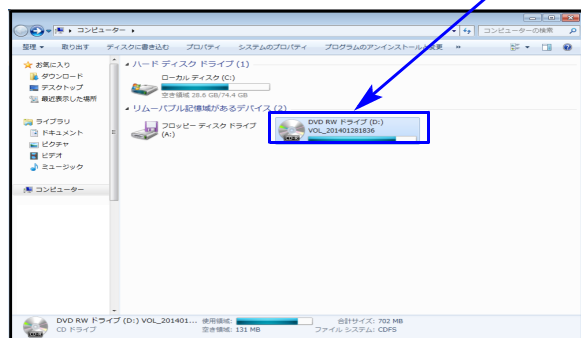
【各プログラムのAI-OCR様式対応について】

国税庁ホームページにAI-OCRに対応した新様式が発表となっております。弊社プログラムでは順次対応を行ってまいります。プログラムによって対応時期が異なりますが何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。※電子申告には影響はありません。また、従来様式でも受け付けてもらえることは確認済みです。

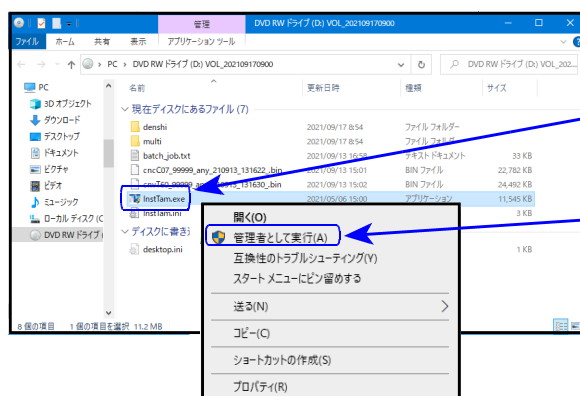
⇒ 電子申告を行っている端末においては
「電子申告環境設定」の更新作業も引き続き行ってください。

インストールを行う際は、全てのプログラムを終了してください。（マルチウィンドウ端末も閉じます。）

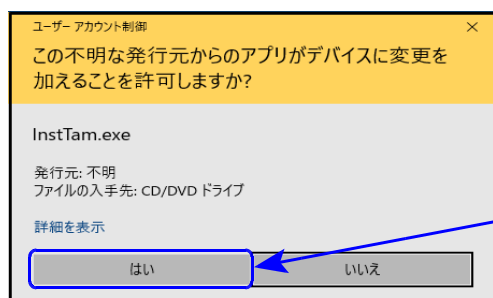
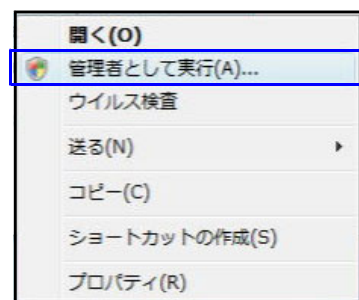
1. 今回送付した「相続税申告書・財産評価・届出書 ～ 更新 26.09」と書いてあるCD-Rを用意して端末機にセットします。
2. PCをダブルクリック→DVD-RWドライブをダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。
OK をクリックするとCD-Rの内容を表示します。



3. CD-Rの内容を表示しますので『InstTam.exe』を右クリックし、『管理者として実行』をクリックします。



4. 「許可しますか？」と表示します。「はい(Y)」をクリックします。

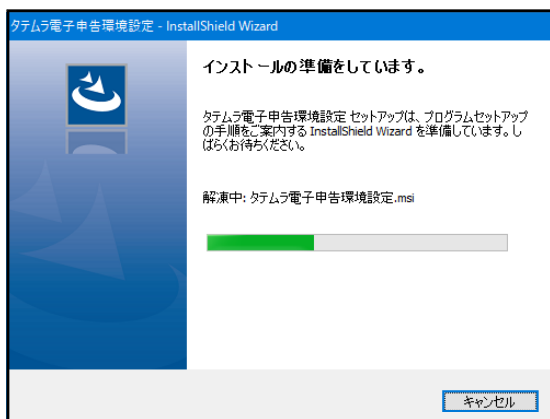


5. 左図の画面を表示します。

電子申告の環境設定をインストールします。

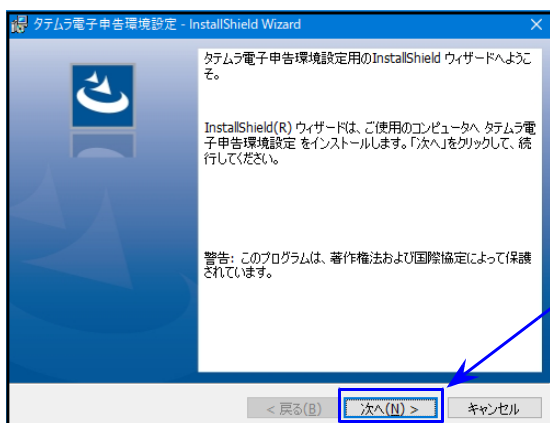
「インストール」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、**インストール** クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えることがあります。再クリックはせずにそのままお待ちください。



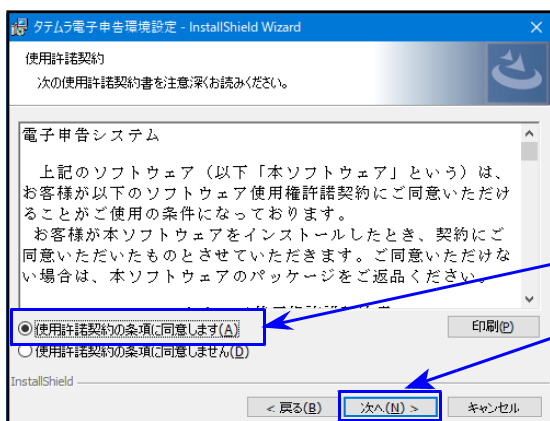
6. 左図の画面を表示します。

7. の画面を表示するまでお待ちください。



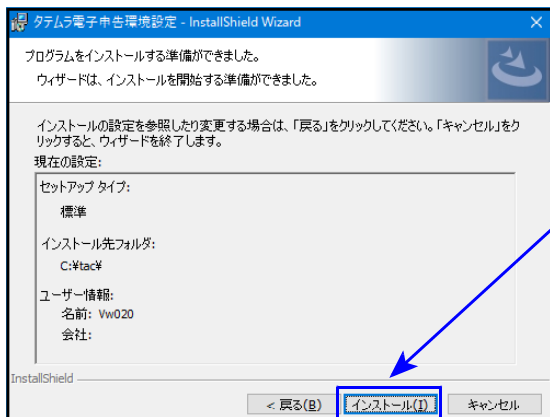
7. 左図の画面を表示します。

「次へ」をクリックします。



8. 左図の画面を表示します。

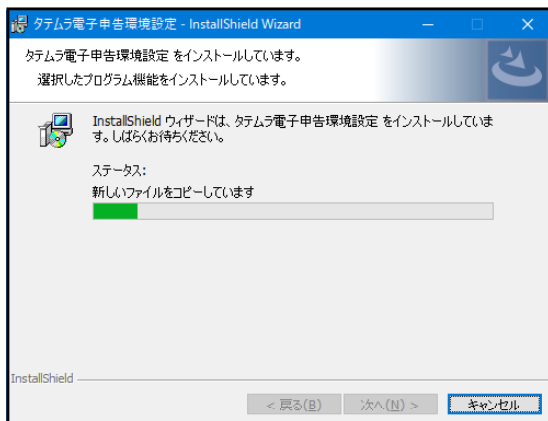
使用許諾契約書をお読みいただき、「同意します」に●を付け替えた後、「次へ」をクリックします。



9. 左図の画面を表示します。

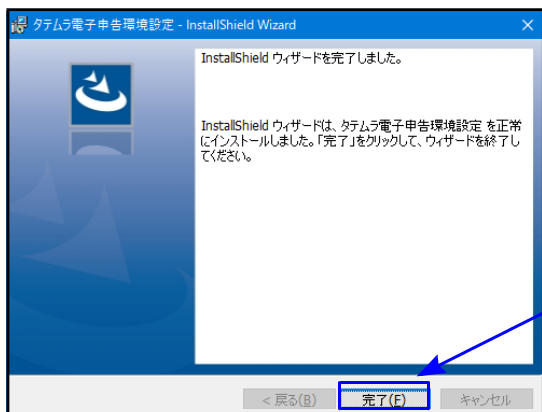
「インストール」をクリックします。

※ご利用の環境によっては、**インストール** クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えることがあります。再クリックはせずにそのままお待ちください。



10. 左図の画面を表示します。

更新作業が始まります。
11. の画面になるまで、そのまましばらくお待ちください。



11. 更新作業が完了すると左図の画面を表示します。

「完了」をクリックします。

12. 左下図の画面に戻ります。
閉じる をクリックします。



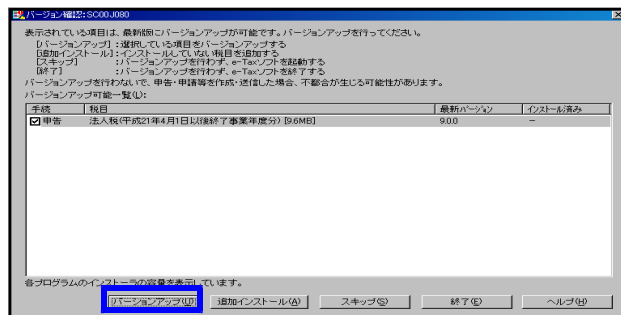
以上で更新作業は終了です。

※e-Taxソフトの更新も行ってください。

e-Taxソフトの更新が必要です

e-Taxのバージョンアップが令和8年9月24日にありました。
弊社電子申告ソフトの更新と一緒にe-Taxソフトの更新作業も行っていただきますようお願いいたします。 以下の方法でバージョンアップしてください。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進みます。



3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願いいたします。

- 免税事業者などインボイス発行事業者以外から行った課税仕入の一定割合を控除できる経過措置について、適用期限を2年間延長した上で控除可能割合が見直されました（7・5・3割控除）。弊社財務システムにおいても入力及び集計、出力の対応を行いました。

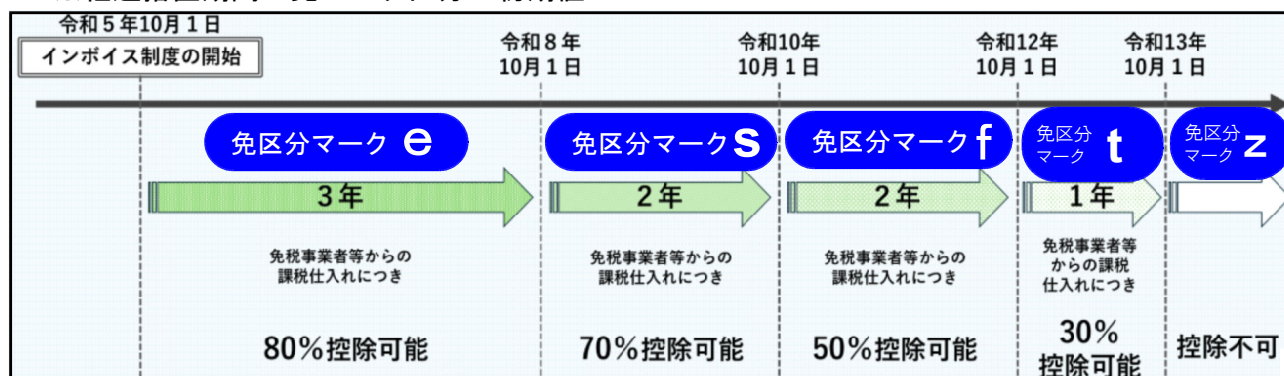
【[11]仕訳入力】

- ・ **「免」** マークにセットする控除用記号「e(80%控除)」「f(50%控除)」「z(0%控除)」に次の2つを追加しました。
追加記号：「s(70%控除)」「t(30%控除)」
- ・ 見直しによって変更となった経過措置適用可能期間、率に対応したマークを初期表示するよう変更し、「s」「t」マークの算出消費税の計算も追加しました。

(見直し前)

令和 5年10月1日～令和 8年9月30日：「e」	80%控除	80%控除
令和 8年10月1日～令和10年9月30日：「s」	70%	50%
令和10年10月1日～令和12年9月30日：「f」	50%	R11. 9. 30まで50%控除
令和12年10月1日～令和13年9月30日：「t」	30%	R11. 10. 1以降 0%
令和13年10月1日以降：(控除なし)：「z」	0%	

※経過措置期間の免マーク区分の初期値



今までどおりの免税は、**免区分マーク i** を入力します。

【各財務帳表】

- ・ 仕入**「免」**マーク区分「s」「t」を印刷するよう、機能更新しました。
[12]仕訳日記帳/[50]総勘定元帳/[63]科目別補助簿/[67]工事別元帳/[57]帳簿履歴
※[12]仕訳日記帳以外は、税マーク印字を「する」に指定した場合に印字します。
- ・ 税抜処理の仕入**「免」**マーク処理において、「s」70%控除、「t」30%控除を集計して算出するよう、機能更新しました。
[30]合計残高試算表/[31]営業成績報告書/[32]青色営業成績報告書/[33]当期原価報告書
[58]部門別営業成績推移表/[59]部門別当期原価推移表/[60]部門別営業成績報告書/
[61]当期原価報告書/[1230]分析試算表
- ・ 適格請求書発行事業者以外からの仕入**「免」**マーク区分集計において、「s」70%控除、「t」30%控除の精算、分離、印刷ができるよう、機能更新しました。
[37]消費税精算表/[38]消費税自動精算/[39]消費税一括自動分離/[40]課税区分集計表/
[41]仕入控除額計算表

● 防衛特別法人税の追加に対応しました。

税効果メニュー(dev/pts/4) System-V IAS 会計システム

個別税効果会計計算システム

ユーザコード ... 142

年 度 ... 令和 8

ユーザ名 ... 株式会社 東京商事

入力用紙選択 (1ページ)

1: [税効果内訳表]

2: [発生の主な原因別の内訳]

3: [実効税率と負担率の差異の内訳]

用紙番号 ...

1: 税効果内訳表の「法定実効税率」の計算欄に、「防衛特別法人税率」を追加し、計算も対応しました。

※※ 税効果内訳表 ※※

ユーザコード: 142 会社名: 株式会社 東京商事

自令和 8年 4月 1日 ~ 至令和 9年 3月 31日 前期率: 30.82 % 当期率: 31.52 %

☐ [a]の繰延税金を計算する場合はチェック

☐ [b][c]繰延税金を手入力する場合はチェック

法定実効税率

プレビュー 印刷

★sa01:【実効税率】0142 (dev/pts/16) System-V IAS 会計システム

拡大表示 縮小表示

※※ 税効果【法定実効税率の計算】 ※※

	前 期	当 期
法 人 税 率	23.2 %	23.2 %
地 方 法 人 税 率	10.3 %	10.3 %
防衛特別法人税率	%	4.0 %
事 業 税 率	1.18 %	1.18 %
事業税標準税率	1.0 %	1.0 %
住 民 税 率	10.40 %	10.40 %
地方法人特別税率	280 %	280 %
法 定 実 効 税 率	30.82 %	31.52 %

< 計算式 >

法定実効税率 =
$$\frac{\text{法人税率} \times (1 + \text{住民税率} + \text{地方法人税率} + \text{防衛特別法人税率}) + \text{事業税率} + \text{事業税標準税率} \times \text{地方法人特別税率}}{1 + \text{事業税率} + \text{事業税標準税率} \times \text{地方法人特別税率}}$$

●『AI-OCR』様式に対応しました

更新前のプログラム(令和7年1月1日以降版)で令和8年分の相続税申告書を既に作成している場合

プログラムを
令和8年版へ更新

入力画面で、入力済の表を1表ずつ開いて内容を確認してください。

各表の確認点・変更点

AI-OCRの相続税申告書においては「コード」で表示・印刷する項目があります。プログラムでは文字表示のセレクトを選択することで、コードが自動セットされるようになっています。

※既に入力してある場合は画面を開くことでコードがセットされます。

各表の入力画面を開いて確認してください。

【元号コード】 令和 5、平成 4、昭和 3、大正 2、明治 1

【続柄コード】

コード	続柄
01	配偶者
11	長男
12	二男
13	三男
14	四男
15	五男
16	六男
17	七男
18	八男
19	九男

コード	続柄
21	長女
22	二女
23	三女
24	四女
25	五女
26	六女
27	七女
28	八女
29	九女
90	養子

コード	続柄
30	孫
41	父
42	母
51	祖父
52	祖母
61	兄
62	弟
63	姉
64	妹
10	子
99	その他

【該当の✓→「1」へ変更】該当記入欄は、該当の場合「1」を印刷するように変更となりました。

【被相続人登録】元号：各元号欄の左にコードを表示していますので、確認してください。

【被相続人の登録】		※は必須入力項目です。
相続開始の日	5	令和 8 年 5 月 10 日
フリガナ(半角)	うたけ い ちろう	
被相続人名	国税 太郎	
生年月日	3	昭和 25 年 10 月 19 日
年齢	75歳 ※相続開始の日と生年月日より割り出します。	
郵便番号	〒344 - 0001	
住所	埼玉県春日部市 〇〇〇3丁目5番16号	
職業	〇〇商事(株)代表取締役	
あん分割合桁数	7	※2～10(初期値2)
算出税額端数処理	☐ 切捨て ☒ 自動あん分	
第11・12の2表付表1:同意欄	☒ 全相続人 ☐ 選択した財産の取得者	
管轄税務署	春日部 税務署	
提出年月日	5	令和 9 年 2 月 5 日

関与税理士No	3 0～4	利用者識別番号	2230091407200219
税理士名	税理士法人あおぞら税務会計事務所 代表 社員税理士 川野 孝		
事務所名	税理士法人あおぞら税務会計事務所		
郵便番号	〒120 - 0000		

税務代理権限証書に「事務所名」が追加になったことから、税理士欄の表示に追加しました。

※既に入力してある場合は画面を開くことで事務所名が転記されてきます。被相続人登録を開いて確認してください。

【相続人登録】 元号・続柄：セレクトで選択したものを「コード」で表示します。

相 続 人 名 ※	国税 花子
続 柄	01 配偶者 妻
生 年 月 日	3 昭和 30 年 9 月 21 日

第1表、第2表等の続柄はコード印刷です。

※既に入力してある場合は画面を開くことでコードがセットされます。
相続人全員分開いて確認してください。

【第1表】 還付がある場合、必ず第1表を開いてください。
[22]欄の用紙から△がなくなっています。そのため、マイナスで表示・印刷するようにプログラムの内部計算が変わっています。

納税額 (19-20)	納付すべき税額	21	66,787,400
	還付される税額	22	-12,053,200

[22]還付される税額
マイナスで表示していることを
確認してください。

[19][23][25][26][27]がマイナス金額の場合、△→「-」で印刷に変更しました。

【第2表】

[4] 法定相続人		[5] 法定相続分
氏 名	続 柄	
国税 花子	01 妻	1 / 2
国税 一郎	11 長男	1 / 4

続柄のコードを表示します。
(相続人登録から転記しています。)

続柄はコードでの印刷となります。

【第4表の2】 相続開始の前年分、前々年分、前々々年分の元号はコードで印刷します。

(画面にコードの表示はありません。)

※既に入力してある場合は必ず画面を開いてください。

入力画面を開くことで元号コードが内部にセットされます。

【第6表】 1 頁に印刷する相続人数が変更となりました。(入力画面は変更なし)

・未成年者控除欄 4 名→ 3 名

・障害者控除欄 一般障害者 2 名・特別障害者 2 名→ 一般障害者 2 名・特別障害者 1 名

※扶養義務者の印刷の順番を変更しています。

【第7表】 [12]割合の小数点以下表示 7 ケタ→ 10 ケタに変更しました。

〈相続のしかた 記載例〉

2 各相続人の相続税控除額の計算					
(1) 一般の場合 (この表は、被相続人から相続、遺贈や相続時特種贈与に係る贈与によって財産を取得した人のうち農業相続人がいない場合に、財産を取得した相続人の全ての人が記入します。)					
今回の相続の被相続人から財産を取得した相続人の氏名	② 相続税控除額の総額 (円)	③ 各相続人の純資産価額 (円) (第1表の各人の③の金額)	④ 相続人以外の人も含めた純資産価額の合計額 (円) (第1表の④の各人の合計)	⑤ 本人の⑤の割合	⑥ 各人の相続税控除額 (円) (⑤×各人の⑥の割合)
001 国税 花子	(上記②の金額)	G13 253,286,750	495,602,246	G14 0.5110686080	E12 217,204
002 国税 一郎		G14 129,636,813		G15 0.2615743049	E13 111,169
003 税務 幸子	425,000	G15 112,678,683		G16 0.2273570871	E14 96,627

小数点以下10ケタで
表示・計算するよう
に変更しました。

画面を開いて10ケタに
なっているか確認して
ください。

【第11表付表1～付表4】 様式に、細目等のコード欄が追加となりました。

プログラムでは「13：財産入力」での登録時に必要なコードがセットされるように設計しています。(セレクト選択した細目等に「コード」が自動で付く、入力をコードで行う等)

口座種別	12 普通預金	05-12-001 普通預金
口座番号	1234567	国外 国外：該当する場合 1
備考		
金融機関等 の名称	〇〇銀行	区分 区分：1.銀行 2.金庫 3.組合 1 4.農協 5.漁協 6.上記以外
支店等の名称	〇〇支店	区分 区分：1.本店 2.支店 3.本所 2 4.支所 5.出張所 6.上記以外

〈第11表付表3〉

G14	12	E09 普通預金	G16	1	E12	〇〇銀行
G13	2	E10 1234567	G15		G17	2 E13 〇〇支店

- 【第11の2表】・税務署欄：「署」が固定となりました。
・年分：「年分」が固定となりました。

【第11の2表 相続時精算課税適用財産の明細書・相続時精算課税分の贈与税額控除額の計算書】
被相続人氏名：国税 太郎

2 適用財産の明細 ←適用財産の明細を先に入力して

贈与を受けた人の氏名	初めて贈与を受けた年分	届出書を提出した税務署
国税 一郎	令和 4年分	春日部署

1 相続税の課税価格に加算する相続時精算課税適用財産等から控除すべき贈与税額の明細

番号	[1] 贈与を受けた年分	[2] 贈与税の申告税務署	[3] 贈与財産の価額の合計額	[4] [3]から控除する基礎控除額	[5] ([3] - [4]) (赤字のとき0)	[6] [3]に係る
1	令和 4年分	春日部署	24,626,035		24,626,035	
2	令和 6年分	春日部署	2,500,000		2,500,000	

贈与を受けた人の氏名	被相続人から初めて相続時精算課税に係る贈与を受けた年分 (相続時精算課税適用財産の届出に係る年分)	相続時精算課税適用財産を提出した税務署名
国税 一郎	令和 4	春日部

1 相続税の課税価格に加算する相続時精算課税適用財産の価額及び控除すべき贈与税額の明細

番号	① 贈与を受けた年分 (例) 令和元年分	② 贈与税の申告書を出した 税務署名	③ ①の年分に被相続人から 相続時精算課税に係る 贈与を受けた財産の 価額の合計額 (円)	④ ③から控除する相 続時精算課税に係 る基礎控除額 (円)	⑤ 相続時精算課税適 用財産の価額 (円) ③-④ (赤字のとき0)	⑥ ⑤の財産に係る贈与税 額 (円) (贈与税の外 国税額控除前の金額)	⑦ ⑥のうち贈与税額に 係る外国税額控除額 (円)
1	令和 4	春日部	24,626,035		24,626,035		
2	令和 6	春日部	2,500,000		2,500,000		

※「税務」の文字は
入力不要です。

※年分欄
入力画面は「年分」を
表示してあります。

様式に「年分」がある
ため、「年分」は印刷
しません

- ・ 2. 相続時精算課税適用財産の明細：贈与年月日元号はコードで印刷します。
※既に入力してある場合は必ず画面を開いてコードを確認してください。

- 【第12表】・様式で1頁1行減ったことから、印刷可能件数が2行(1行×2頁分)減となりました。
・各区分の記載方法がコードとなりました。(「13：財産入力」で登録しているコードを印刷します。)

- 【第13表】・元号：各元号欄の左にコードを表示していますので、確認してください。
・1頁の行数が変更となったことから、葬式費用明細の登録数を6行分増やしました。

- 【第15表】 [28]その他欄の上行が削除となり、記載は1行のみに変更となりました。

《代償財産について》

代 償 財 産		0		-5,000,000	5,000,000
そ の 他	28	555,679,011		555,679,011	0
(そ の 他 計)		555,679,011		550,679,011	5,000,000
計	29	555,679,011		550,679,011	5,000,000

入力画面：今までどおり『代償財産』と『その他』を区別して表示し、印刷用に
『(その他計)』欄を追加しました。

印刷：『代償財産』と『その他』を合計した(その他計)の金額を印刷します。

そ の 他	28	555,679,011	600	5,000,000
計	29	550,679,011	607	5,000,000

※e-Taxは2段書きのままのため、電子申告の変換は代償財産・その他を別々に変換します。

- 【第8表】【第9表】【第10表】【第11表】【第14表】元号：「コード」で表示します。
※既に入力してある場合は必ず画面を開いてください。入力画面を開くことで元号コードが
内部にセットされます。

- 【チェックシート】2頁目様式：「その他の財産」に今まであった「暗号資産はありませんか。」
の欄がなくなっていますが、入力画面には残してあります。

● 『AI-OCR』様式に対応しました

更新前のプログラム(令和6年度版)で令和8年分の財産評価を既に作成している場合

プログラムを令和8年4月1日以降版へ更新

入力画面で、入力済の表を1表ずつ開いて内容を確認してください。

各表の確認点・変更点

【計算基準日のチェック】 入力・プリント時、計算基準日をチェックするよう機能追加しました。

- ① 「令和8年3月31日以前」の場合は下図のメッセージを表示します。使用プログラム年を確認してください。

財産評価 System-V IAS 会計システム

※プログラム年と計算基準日が一致していません。
一致するプログラム年を指定してください。

[F5をキーイン]

- ② 年月日の入力が揃っていない場合は下図のメッセージを表示します。年月日すべてを入力してください。

財産評価 System-V IAS 会計システム

計算基準日が正しくありません。
10:【個人情報登録】を確認してください。

[F5をキーイン]

【個人情報登録】 入力文字数を、相続税に合わせて変更しました。
フリガナ・氏名・住所欄の上下各行 全角40→20文字へ変更。

全角20文字を超えて入力していた場合は、下図のように入力枠からはみ出して表示します。
入力画面を開いて確認し、20文字以内で入力し直してください。

個人情報登録(評価対象者)	
フリガナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユエヨ
氏 名	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとにぬねのはひふへほまみむめもやいゆえよ
〒	197 - 0013
住 所	東京都福生市武蔵野台123456789012345678901234567890 12345678901234567890123456789012345678901234567890
電話番号	042 - 555 - 3333
生年月日	昭和 10 年 11 月 10 日
職 業	なし
計算基準日	令和 8 年 5 月 1 日

【土地・土地の権利】 ・「所在地番」3行→2行となりました。
・各住所、氏名欄の入力可能文字数を増やしました。
・区分欄が別表示になったことから、「L3」の1行目を区分名欄としました。(全角40→10文字)

区分名: 1234567890		円	L3
12345678901234567890123456789012345678901234567890			
12345678901234567890123456789012345678901234567890		12,345,678	

印刷

10 1234567890	12345678901234567890123456789012345678901234567890 12345678901234567890123456789012345678901234567890	G37	12,345,678	L
---------------	--	-----	------------	---

※【14:土地等(フリー)】は今回メニューから外しました(データを入力しても、AI-OCR様式にプリントが合わせられないため)。ご承知おきください。

【地積規模大宅地適用チェックシート】今回の更新前に「[14]土地(フリー)」を選択していた場合

○[11]土地 ●[14]土地(フリー) [プレビュー](#)

土地No.	
1	←[11]土地 [14]土地(フリー)のラジオボタンを指定した後 土地No.を指定してください。該当土地の所在地番・住所・氏名・地積を転記します。

【14：土地等(フリー)】がプログラムからなくなったため、[11]の土地No. から所在地番・氏名等は転記されます。画面を開いて確認してください。

【配偶者居住権等】 [11][14]：相続税評価額が時価の場合

評価額が時価の場合、今までは時価の欄に入力した文字を印刷していましたが、AI-OCR様式では文字等が固定となっていて印刷ができないため、金額(計算結果を上書き)のみの印刷となります。

建物	賃貸の用に供されておらず、かつ、共有でないものとした場合の相続税評価額	20,000,000円	[9]
	共有でないものとした場合の相続税評価額	20,000,000円	[10]
	$\begin{array}{c} \text{([10]の相続税評価額)} \quad \text{([1]持分割合)} \\ \text{相続税評価額} \quad 20,000,000 \text{円} \times \frac{1}{2} \end{array}$	(円未満切捨て) 円 8,500,000	[11]
時価	自用家屋部分：2,000万円×100㎡/200㎡×1/2=500万円 貸家部分：2,000万円×100㎡/200㎡×1/2=500万円 500万円－500万円×0.3×100%=3,500,000円 居住建物の時価：500万円＋3,500,000円＝8,500,000円		

印刷

建 物	賃貸の用に供されておらず、かつ、共有でないものとした場合の相続税評価額	20,000,000	円	㊦
	共有でないものとした場合の相続税評価額	20,000,000	円	㊧
	(㊦の相続税評価額) (㊧持分割合) 相続税評価額 _____円 × _____	8,500,000	円	㊨

【上場株式の評価】

- ・「銘柄コード」欄が追加となりました。
- ・「課税時期の最終価格」月日→ 元号と年の欄が追加となりました。

銘柄コード 取引所コード	財産 No.	銘 柄	銘柄コード 取引所コード	課税時期の最終価格	
				元 号 年 月 日	① 価 額
1234	1	A 製作所		・ 5・10	9,821

1:東京	1
1:東京	
1:東京	
3:名古屋	
6:福岡	
8:札幌	

・「取引所」がコードでの印刷となるため、セレクト
 今までと入力が異なり、入力済のデータは読込
 必ず画面を開いて選択入力してください。

セレクトで選択するとコードがセットされます。
 (印刷はコードのみ)

- ・「取引所」がコードでの印刷となるため、セレクト欄となりました。今までと入力が異なり、入力済のデータは読み込みできず消されるため必ず画面を開いて選択入力してください。

セレクトで選択するとコードがセットされます。
(印刷はコードのみ)

【定期金の評価】 入力文字数を変更しました。

「定期金又は契約の名称」「定期金に関する権利を取得した者」28→30文字

定期金又は契約の名称		定期金又は契約の名称てててててててててててててててててん	
定期金の給付者	氏名又は名称	定期金の給付者の氏名又は名称いいいいいいい	
	住所又は所在地	定期金の給付者の住所又は所在地ききききき ----- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
定期金に関する権利を取得した者		定期金に関する権利を取得した者ええええええええええええええええん	

定期金の給付者「氏名又は名称」 1行28文字→ 1行10文字×2

「住所又は所在地」 1行28文字→ 1行20文字×2

氏名・住所欄は1行入力→2行になっています。必ず画面を開いて、文字がはみ出して表示している場合は再度入力を行って整えてください。

【営業権の評価】 [8] 計算欄の「, 000, 000」の固定表示をやめました。

今まで

⑦の金額	189,379,999 円 × 0.20 + 20,000,000 円 = ⑧	57,875,999 円
------	---	--------------

↓

今回

⑦の金額	189,379,999 円 × 0.20 + 20,000,000 円 = ⑧	57,875,999 円
------	---	--------------

手入力の場合
例) 「1,234,567」
↓
「1,000,000」
となります。

【取引相場のない株式の評価明細書】

取引相場のない株式の評価明細書	
会社No.	1 株式会社 東京
選択No. ... []	
11	第1表の1・2 株主の判定及び会社規模の判定明細書・(続)
12	第2表 特定の評価会社の判定の明細書
13	第3表 一般の評価会社の株式の価額計算書
14	第4表の1・2 類似業比準価額等計算書・(続)
15	第5表 1株当たりの純資産価額計算書・(続)
16	第6表 特定の評価会社の株式等の計算書
17	第7表の1・2 株式保有特定会社の株式価額の計算書・(続)
18	第7表の3 株式保有特定会社の株式価額の計算書(続)

《表の様式》

第1表の次葉→ 第1表の1(続)

第4表→ 第4表の1
第4表の2(続)

第5表の次葉→ 第5表(続)

第7表→ 第7表の1
第7表の2(続)

第8表→ 第7表の3

となりました。

《第1表の1・2》

「会社名」 1行20文字→ 1行10文字×2 に変更しました。

【第1表の1 評価上株主の判定及び会社規模の判定明細書】	
会社No.	1 株式会社 東京インターナショナル
会社名	株式会社 東京インターナショナル

取引相場のない株式の評価明細書	
会社No.	1 株式会社 東京インターナショナル
選択No. ... []	
11	第1表の1・2 株主の判定及び会社規模の判定明細書・(続)

会社No. の名称を10文字ずつ2つの
行へ転記します。

※既に入力していた場合は画面
を開いて会社名を確認してく
ださい。

「続柄」「役職名」「株式の種類」をセレクトに変更。コードもセットするよう機能更新しました。

1. 株主及び評価方式の判定		法人税 読み込み		← 法人税申告書 別表2からデータを読み込みます。		
氏名又は名称	続 柄	役職名	株式の種類	④ 株式数	⑤ 未分	
1 東京 一郎	納税義務者 ※番号を印刷	1:社長 社長	1:普通株式 普通株式	40,000		
2 東京 二郎	2:子 子	3:代表取締役 代表取締役	1:普通株式 普通株式	900,000		

コードも印刷します。

611	3	E10	代表取締役
612	1	E11	普通株式

「氏名又は名称」 1行8文字→ 1行10文字×2に変更しました。

コードをセットするよう、更新後に初めて各ユーザコードのデータを開いたときに一度
限りの変換を行います。(セレクト欄にコードが表示されない場合は選択してください)

「法人税 読み込み」

別表2のデータを読み込みます。

- ・氏名又は名称：上下段の文字をたして、先頭から10文字を上段・次の10文字を下段へ転記
- ・続柄：別表2の続柄コードにより、セレクトと一致するものを転記
(一致しないものは「18：その他」へ)

法人税 別表2	氏名又は法人名	続 柄	法人税 読 み 込 み	氏名又は名称	続 柄
	高井 忠	本 人		高井 忠	納税義務者 ※番号を印刷
	高井 貴子	02:配偶者 配偶者		高井 貴子	1:配偶者 配偶者
	高井 左千雄	13:子 子		高井 左千雄	2:子 子

《第3表[34]》《第6表[36]》

「株式に関する権利の評価額」

株式に係る権利の4つをそれぞれ印刷→「円 銭」の固定欄になり、合計を印刷するように変更となりました。

なお、小数での記載をしている場合は下図のようになります。

3. 株式に関する権利の評価額	配 当 期 待 権	② 1株当たりの予想配当金額	③ 源泉徴収されるべき所得税相当額	④ 配当期待権の価額 (②-③)
		J03 円 5 銭	J04 円 1 銭	J05 0 円 4 銭
	株式の割当てを受ける権利 (割当株式1株当たりの価額)	G12 0.0001285 円	G13	C11 0.0001285 円
	株 主 と な る 権 利 (割当株式1株当たりの価額)	④の金額 (配当還元方式の場合は③の金額) (課税時期後にその株主となる権利につき払い込むべき金額があるときは、その金額を控除した金額)	⑤ 割当株式1株当たりの 払込金額	⑥ 株式の割当てを受ける 権利の価額 (④-⑤)
4. 株式及び株式に関する 権利の価額 (1.及び2.に共通)	株式無償交付期待権 (交付される株式1株 当たりの価額)	④の金額 (配当還元方式の場合は③の金額)	⑦ 株主となる権利の価額	C12 0.0001285 円
			⑧ 株式無償交付期待権の価額	C13 0.0001285 円
	株式の評価額	C14 0.0001285 円	⑨ 株式に関する 権利の評価額	J06 0 円 4.03855 銭

合計

《第4表》 [11][18]の法人税申告書からの読み込み

令和8年6月の法人税申告書の更新において、別表4 [52]①、別表5(1) [31]④の金額が「マイナス」の場合に、△→「-」での表示に変更しましたが、そのことによりマイナスの金額が読み込めないケースがあることが今回の出荷前に判明し、改善をしました。

【財産一覧表】

「読み込み」において、上書き金額も消してから転記するよう機能変更しました。

財産一覧表 1 頁へ移動(全5頁) 読 込 プレビュー 印 刷 ※全頁をプレビュー/印刷します

利用区分・銘柄 System-V IAS 会計システム

全データを消して転記します
良ければF4を押してください。

[F4:継続] [F5:中止]

00 m² 単位
1,999
() × ()
09 m² 単位
5,269
() × ()

[F4:継続] で読み込み転記を行います。

【入力画面からの印刷について】

各表で全頁まとめて印刷するものは「全頁をプレビュー/印刷します」の注記があります。
※注記がない表は、表示している画面のもののみを印刷します。

上 場 株 式 の 評 価 明 細 書					
1 1 頁へ移動(全5頁)		※全頁をプレビュー/印刷します プレビュー 印刷			
終価格	最終価格の月平均額		評価額	増資による権利落等の修	持株数
課税日	前日	前々日	評価額	増資による権利落等の修	持株数

「全頁をプレビュー/印刷します」の注記がある場合で1頁のみ印刷したい場合は「2. プリント」でおこなってください。

33:【営業権の評価】	22:【上場株式の評価】	51:【表紙】
34:【山林・森林の立木】	23:【登録・店頭銘柄他の評価】	52:【取引相場・表紙】
41:【財産一覧表】		53:【財産目録】

用紙番号 ... データのない表の印刷 1.いる 2.いらぬ ... 2

印刷枚数 ... 1枚 1.連帳 2.単表 2

エンターキーで印字開始します。

17°切替 5 終了 9 指 クリア 0 全指定

[Enter] キーを押すと
1 頁目のみ印刷します。

「2. 単表」を選択します。

※ 1 頁目を飛ばして、2 頁目を印刷したい場合は、[Enter] キーの代わりに『P』を押します。

33:【営業権の評価】	22:【上場株式の評価】	51:【表紙】
34:【山林・森林の立木】	23:【登録・店頭銘柄他の評価】	52:【取引相場・表紙】
41:【財産一覧表】		53:【財産目録】

用紙番号 ... データのない表の印刷 1.いる 2.いらぬ ... 2

印刷枚数 ... 1枚 1.連帳 2.単表 2

エンターキーで印字開始します (2頁)

17°切替 5 終了 9 指 クリア 0 全指定

(2 頁)の表示が出たら[Enter]キーを押すと2 頁目を印刷し、(3 頁)の表示が出ます。

印刷する頁は[Enter]キー、印刷不要な場合は『P』を押し、途中で印刷を終了する場合は[F5: 終了]キーを押してください。

● 税理士添付書類のみ：『AI-OCR』様式に対応しました

現在AI-OCR様式になっているのは1頁目の画面の税理士添付書類のみです。

届出書・メニュー(/dev/pts/7) System-V IAS 会計システム

令和8年分 届出書セットプログラム
ユーザーID ... 142
年 度 ... 令和 8
ユーザー名 ... 株式会社 東京商事

入力用紙選択 (1 / 4ページ)

999:法人番号・個人番号選択	
【税理士法届出書 AI-OCR】	
801:税務代理権限証書(1)	805:税務代理(1)国税電子専用
802:税務代理権限証書(2)	806:税務代理(2)国税電子専用
803:税務代理権限証書(3)	807:税務代理(3)国税電子専用
811:計算事項等(33の2(1))	815:計算事項等(33の2(1)(資))
812: # 2 頁目	816: # 2 頁目 (資)
813: # 3 頁目	817: # 3 頁目 (資)
814: # 4 頁目	818: # 4 頁目 (資)
821:審査事項等(33の2(2))	825:審査事項等(33の2(2)(資))
822: # 2 頁目	826: # 2 頁目 (資)
823: # 3 頁目	827: # 3 頁目 (資)
824: # 4 頁目	828: # 4 頁目 (資)

AI-OCR様式
[801]～[803]
[811]～[818]
[821]～[828] 対応済

[805]～[807]は電子申告専用のため、AI-OCR様式ではありません。

※ そのほかの届出書は従来版のままです。

全システムの更新となりますことからお時間をいただいておりますが、随時更新して対応しますので、しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

★新しくプログラムを作り直しております。今までのデータから変換する場合は、画面右上の「旧データを移行する場合はチェック(全項目対象)」のチェックボックスをクリックします。

801:税務代理権限証書(1) 0143 (dev/pts/4) System-V IAS 会計システム

標準表示 縮小表示

【提出先1】

☐ GP申告情報を読み込みする場合はチェック(青アンダーライン)

☐ 旧データを移行する場合はチェック(全項目対象)

プレビュー 印刷

税務代理権限証書

利用者識別番号:

氏名又は名称

年 月 日

税 理 士

登録番号等

事務所の電話番号 () -

★GP申告情報登録からの一括転記をやめて、各入力画面から氏名・住所等を転記するように機能変更をしました。(各届出書での転記要望が多かったため。)

GP申告情報登録からデータを転記する場合は、画面左上の「☐GP申告情報を読み込みする場合はチェック(青アンダーライン)」のチェックボックスをクリックします。→青アンダーラインの付いた読み込み対象項目にデータを転記します。

[801・805 税目の該当欄] 画面：チェック右横に「1」を表示。印刷：「1」のみ印刷します。

法 人 税

復興特別法人税・地方税法を含む

☒ 1

自 令和 8 年 4 月 1 日 至 令和 9 年 3 月 31 日

法 人 税

(復興特別法人税・地方税法を含む)

G08 1

自 N02 令和 8 4 1 至 N03 令和 9 3 31

[811・821 対象税目欄]

「税」は付けずに入力してください。

33の2① 申告書の作成に関する

税目に「税」は付けないでください。

提出年月日 年 月 日

対象税目 法人

【 国税 】

● 令和8年9月24日のe-Tax更新に伴い、弊社電子申告システムも対応しました。

e-Taxにおいて、[110]法人税申告書プログラムで用意している全別表（[200]追加別表含む）のうち、「特別償却の付表」以外が受付開始となりました。

法人税申告書（* のついている表はオプションです。）

☐ 別表 1	☐ 別表 5-2	☐ 別表 6-12*	☐ 別表 11-1	☐ 別表 16-6
☐ (別表1次葉1)	☐ 別表 6-1	☐ 別表 6-15*	☐ 別表 11(1の2)	☐ 別表 16-7
☐ (別表1次葉2)	☐ 別表 6-2*	☐ 別表 6-21*	☐ 別表 11-2	☐ 別表 16-8
☐ 別表 2	☐ 別表 6(2の2)*	☐ 別表 6-23*	☐ 別表 13-2	☐ 別表 16-9*
☐ 別表 3-1	☐ 別表 6-3*	☐ 別表 6-24*	☐ 別表 13-5	☐ 別表 16-10
☐ 別表 3-1付	☐ 別表 6-3付1*	☐ 別表 6-24付1*	☐ 別表 14-2	☐ 適用額明細書
☐ 別表 4(一般)	☐ 別表 6-4*	☐ 別表 6-24付2*	☐ 別表 14-6*	
☐ 別表 4(簡易)	☐ 別表 6-6*	☐ 別表 7-1	☐ 別表 15	
☐ (別表 4 次葉)	☐ 別表 6-9*	☐ 別表 8-1	☐ 別表 16-1	
☐ 別表 5-1	☐ 別表 6-10*	☐ 別表 8-2*	☐ 別表 16-2	
☐ 別表 5-1付	☐ 別表 6-11*	☐ 別表 10-8*	☐ 別表 16-4	

※特別償却の付表については、e-Tax対応となるまでの間はPDF添付または郵送での申告を行ってください。

● 最新の税理士添付書類で変換するよう対応しました。（令和8～5年）

電子申告システム(dev/pts/5) System-V IAS 会計システム

拡大表示 縮小表示

ユーザコード 142

年度 【提出先1 国税電子専用】

ユーザ ☐ GP申告情報を読み込む場合はチェック (青アングラー)

11: 【GP

プレビュー 印刷

☐ 旧データを移行する場合はチェック (全項目対象)

※税務代理権限証書で「通知書の代理受領」を選択の場合は必ず、税理士の利用者識別番号を入力してください。

※電子で変換できるのは30文字まで 利用者識別番号:

氏名又は名称

【添付書類】

12: 【税務代理権限証書(1) 国税用】

13: 【税務代理権限証書(2) 国税用】

14: 【税務代理権限証書(3) 国税用】

22: 【計算事項等(33の2(1))】

23: 【 " 2 頁目】

24: 【 " 3 頁目】

25: 【 " 4 頁目】

26: 【審査事項等(33の2(2))】

27: 【 " 2 頁目】

28: 【 " 3 頁目】

29: 【 " 4 頁目】

今回更新後の[1110]届出書プログラムで作成したデータで変換します。

届出書データは[880]電子申告システム変換画面と連動していますので、変換前に必ず画面を開いて入力内容を確認してください。

【12】～【14】、【22】～【29】それぞれを開いて確認します。

※相続税電子の場合は[500]相続税申告書で各相続人ごとに入力内容を確認してください。

★プログラムの更新前に作成済みの場合
データがカラの状態です。

↓

入力画面右上の
「☐旧データを移行する場合はチェック (全項目対象)」をクリックしてください。

↓

更新前に入力したデータが転記されます。

※e-Tax・電子交付への同意方法の変更について※

令和8年9月24日以後、電子交付への同意方法が変更となり、「還付金振込」などの一部を除いては、申告の都度ではなく、「マイページでの一括同意」が必要になるとのことです。

《e-Taxホームページ》

【<https://www.e-tax.nta.go.jp/tsuuchi/tsuuchimenu.htm>】より抜粋

処分通知等の電子交付について

【電子交付への同意方法の変更】

○電子交付への同意方法は、原則、「申請等の都度の同意」から「事前の一括同意」に変更されます。

電子交付を希望する方は、これまで電子交付を利用していた方も含め、e-Tax上で一括同意の手続きが必要になります（令和8年9月24日以降に、e-Tax上で一括同意の手続きができるようになります。詳細については、後日e-Taxホームページでお知らせします。）。

○これまで電子交付の対象であった以下の通知書等については、令和8年9月24日以降も、一括同意の手続なく、電子交付されます。

・「国税還付金振込通知書」については、申告・申請等の都度、電子交付への同意をすることにより、電子交付されます。

【<https://www.e-tax.nta.go.jp/kakunin/kouseituuchi.htm>】での注意事項

令和8年9月23日以前に提出した所得税及び復興特別所得税の確定申告書においてe-Taxによる交付を希望していた場合であってもマイページ上で受領方法に「電子（e-Tax）」を選択していなかった場合、電子交付を受けることができませんのでご注意ください。

弊社各申告書プログラムの基本情報登録（相続税は相続人登録）に、電子申告用の通知希望欄を用意して、電子申告変換を行っております。

【電子申告用】

この申告書に係る通知等がある場合、e-Taxによる通知を希望します。（☒ 加算税 ☒ 還付金振込）

令和8年9月24日以降、申告時に通知希望とした場合でも、別途「マイページでの一括同意」が必要となるとのことですのでご注意ください。

詳細は、e-Taxホームページ【<https://www.e-tax.nta.go.jp/>】にてご確認ください。

【 地方税 】

● 最新の税理士添付書類で変換するよう対応しました。

[882]法人送信データ作成の[12][13][14]税務代理権限証書は国税用です。地方税は[1110]届出書プログラムの[801][802][803]のデータを変換します。送信前に画面を開いて入力内容を確認してください。※プログラムの更新前に作成済みの場合は「旧データを移行」してください。

令和8年分 届出書セットプログラム

ユーザコード … 142

年 度 … 令和 8

ユーザ名 … 株式会社 東京商事

入力用紙選択

地方税電子変換は
[1110]届出書の
[801][802][803]
データを変換します。

999:法人番号・個人番号選択

【税理士法届出書 AI-OCR】

801:税務代理権限証書(1)

802:税務代理権限証書(2)

803:税務代理権限証書(3)

805:税務代理(1)国税電子専用

806:税務代理(2)国税電子専用

807:税務代理(3)国税電子専用